



MISATO Town Assembly

美郷町議会だより

2023 **4** No.66

発行／宮崎県美郷町議会
編集／議会広報広聴特別委員会 広報部会

〒883-1101 東臼杵郡美郷町西郷田代1
TEL(0982)66-3607 FAX(0982)66-3137

- 第1回定例会
新年度予算等40議案原案可決 ……2～4P
- 町政を問う!
～第1回定例会一般質問～ ……5～8P
- 議会活動報告 ……9～10P

- 議員のひと言コーナー ……10P
- あれからどうなった?～追跡調査～ ……11P
- 美郷町の元気づけと／編集後記 ……12P

議会だよりはスマートフォンやパソコン、タブレットからでもご覧になれます。



「笑顔・夢・挑戦」をスローガンに頑張ります。
Smile・Dream・Challenge

きくち みどりさん
(美郷北義務教育学校 校長)



よしずみ きょうたろう
吉住 京太郎さん(西郷義務教育学校 校長)

美郷ならではの教育「11年間の連続性のある
深い学び」を実現していきます。



なかむら としひこ
中村 敏彦さん
(美郷南学園校長)



地域のより所となる、学校づくりを目指します。

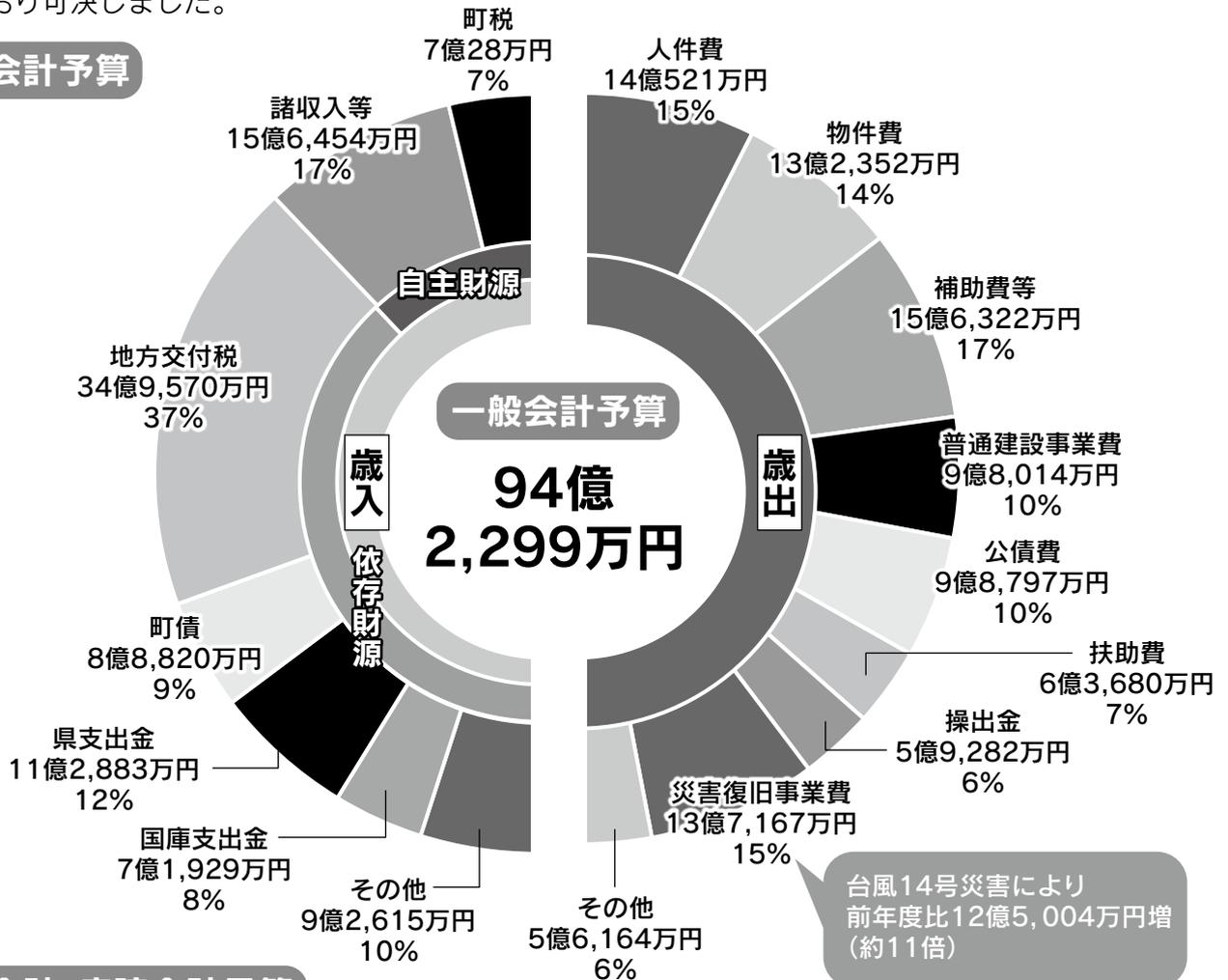
令和5年度 一般会計予算 総額94億2,299万円 前年度比13億8,094万円(17.2%)増 災害復旧が最優先

可決

令和5年3月議会は、3月2日から3月16日までの15日間開催され、令和5年度当初予算をはじめ、令和4年度補正予算、条例改正等40件の議案が提出され、いずれも原案のとおり可決しました。

当初予算	補正予算	条例	その他
8件	8件	10件	14件

一般会計予算



特別会計・病院会計予算

会計別	令和5年度予算額(※万円未満四捨五入)	前年度予算対比
国民健康保険事業特別会計	9億6,806万円	-3.8%
介護保険事業特別会計	9億8,268万円	-0.9%
後期高齢者医療事業特別会計	2億9,270万円	5.7%
簡易水道事業特別会計	1億8,569万円	5.7%
農業集落排水事業特別会計	1億2,163万円	10.6%
国民健康保険診療所事業特別会計	1億8,187万円	-7.7%
国民健康保険病院事業会計(収益的収支)	7億2,658万円	0.3%
国民健康保険病院事業会計(資本的収支)	6,602万円	-43.2%

※議案一覧・議決結果は、ホームページでご覧になれますが、QRコードでも簡単にご覧になれます。



議案一覧



議決結果

次世代へバトンを引き継ぎ、持続可能な町へ

ちくせん事業町内全地区計画実行へ

各地区への実践事業補助金 5,381万円

令和2年度から町内24の行政区ごとに住民が主体となって定住促進の取り組みを定め実践する「美郷町地区別定住戦略事業(通称:ちくせん)の事業計画が全地区策定され、令和5年度より実行に移されます。(先行13地区は、令和4年度から実行)

質 ちくせん実行委員の役員のなり手がおらず無理して役員をしているところもある。役員報酬は出せないのか。

答 なり手不足は理解している。しかし、やられるのではなく、地区のことを自分たちで考えてやっていただくことを期待している。日当の支払は可能である。

原油・燃油・物価・農業にかかる肥料等の価格高騰対策事業

生活応援商品券の配布 1,964万円

原油・物価高騰の影響を受けた町民の家計負担軽減と地域経済に対する支援のために、全世帯へ7,000円分の商品券を配布する。

質 町民はいつ、どのように受け取れるのか。

答 詳しくは決まっていないが、可能な限り早い時期に出したい。また、各世帯へ直接郵送する予定。

質 商品券はどこで使えるのか。

答 町内に事業所のある商工業者で、商品券使用について町に申請のあった事業者。

農業保険の加入推進 500万円

農業収入の著しい変動が農業経営に及ぼす影響の緩和と災害時の備えとして、農業保険の加入にかかる費用を補助する。収入保険、園芸施設共済、果樹共済に加入する農業者が支払う保険料の2分の1以内で5万円が上限。

飼料購入経費の一部を補助 2,588万円

補助対象	補助金交付単価	交付対象者
肉用牛(繁殖雌牛)	19,700円以内/頭	町内に住所を有する経営者・生産者・事業者
養鶏(ブロイラー)	5,000円以内/ 1,000羽あたり	
養鶏(地鶏・きじ)	価格上昇分の 3割以内	

※1戸あたり100万円が上限。

地域おこし協力隊の募集と活動事業

地域おこし協力隊関係予算総額 5,670万円

地域おこし協力隊員数

令和5年3月末現在	令和5年度新規雇用(予定)
8名	4名

ポイント

人口減少や高齢化が進む地方において、地域外の人材を積極的に誘致し、定住定着を目的として、新たな観点から地域の魅力を再発見し町外へ発信していくために雇用しています。財源として国からの特別交付税があります。

令和5年度予算に対する付記事項

- ① 早期の災害復旧等に努力していただき感謝する。今後も引き続き災害復旧の早期完成に努力するとともに、河川に堆積した砂利上げが早期に実現するよう要望を継続すること。
- ② 現行のプレミアム付商品券の事業効果が損なわない範囲で、地域差が無いように、広く町民が商品券を利用し易い、新たな政策を講じること。
- ③ 救急車の現場到着や現場出発が早くなるよう対策を講じること。
- ④ 診療所の公設民営化の検討を進めること。
- ⑤ ジビエ工房施設の目的を達成する活用を続けること。
- ⑥ 移住政策については、今後は「ちくせん」と連携を図って、更なる成果を上げるよう努めること。
- ⑦ 地域おこし協力隊の事業目的を再認識して、退任後町内に確実に定着できるよう、任用期間中に十分な対応を行うこと。

公の施設の指定管理について

施設の運営を見直す目的で指定管理者の募集を行っていましたが、「石峠レイクランド交流施設」について、「株式会社ケイメイ」が指定管理者として指定されました。

●指定の期間

令和5年7月1日から令和9年3月31日(3年9ヶ月)

～「株式会社ケイメイ」の会社概要～

健康増進のための施設運営や医療・介護・保健サービスを提供しているケイメイグループに属する企業であり、ホテル事業のほか、介護事業やフィットネス事業等を展開。

◎代表者:代表取締役 有馬佳孝

◎会社設立日:昭和48年5月17日

◎所在地:宮崎県宮崎市清水3丁目7-12

◎資本金:3,000万円 ◎従業員数:95名

不公平感の無い水道料金へ改正

令和4年第4回定例会にて小路議員より水道料金制度の変更について一般質問が行われました。料金改定を念頭に審議会が開かれ、少量使用世帯の不公平感の解消と、使用量10m³を超える場合の影響を可能な限り小さくする方向で審議され、答申案のとおり可決しました。

改正前

基本料金	1,324円(使用量10m ³ まで)
超過料金	1m ³ 増すごとに86円追加

改正後(令和5年10月請求分から)

基本料金	1,000円(1月あたり)	
従量料金 (1m ³ あたり)	10m ³ まで	32円
	11m ³ ～20m ³	90円
	21m ³ ～30m ³	94円
	31m ³ ～40m ³	98円
	41m ³ ～50m ³	102円
	51m ³ を超えるとき	107円

※いずれも税抜き金額です。

賛否の分かれた議案

議案第11号 北郷平山木工団地の財産(土地)の無償貸し付けについて **原案可決**

(概要) 建物については無償譲渡により財産処分を行っていたが、土地については無償貸し付けを行って。しかし、前回の契約から10年以上が経過しており、今後の貸付条件等の協議を行う必要もあるため、引き続き3年間土地の無償貸し付けを行う。

反対
討論

この土地の広さは5万1,966平米であり、創業当時何らかの理由により無償貸し付けになったとは推測する。現在のウッドショックにおいては利益も多少は出ていると思う。付近の精米機の土地使用料は徴収しており、この土地だけ無償とすることは不公平なのではないか。耳川流域木工団地の共有地は無償貸し付けから有償貸付および売買交渉を行うとされていることもあり、今回の無償貸し付けについては疑問を持っている。

賛成
討論

はっきりとした事実・事業内容が把握できていない現状である。この内容について説明があり、把握ができるまでは貸し付けたほうがいいのか。

議案第12号 美郷町営賃貸住宅条例の一部を改正する条例 **原案可決**

(概要) 南郷神門地区に建設中の「移住定住促進単身者住宅」の完成にともない、町外からの移住希望の若者世代の定住促進を図る目的で、入居者の資格に年齢制限を定める改正。

反対
討論

移住定住に繋がる大変意義のある事業であると考えますが、年齢制限が18歳から満40歳未満となっている。しかし、住宅の一部にはバリアフリー化の住宅が建設されており、新しい入居者を募集した場合にこの年齢制限内で入居を希望する方がいるのか疑問である。町長が認める場合はこの限りではない、としているが、町内にはバリアフリー化を希望するもっと高齢の世帯の住民がいると考えるので年齢制限を撤廃していただきたい。

賛否一覽	氏名	若杉	早川	中田	兒玉	中嶋	川村	那須	甲斐	川村
	議案番号	仲見	節夫	武満	鋼士	奈良雄	義幸	富重	秀徳	嘉彦
	議案第11号	○	○	○	●	○	○	○	●	○
	議案第12号	●	●	○	○	○	○	○	○	○

○賛成 ●反対

※山本文男議員は議長であるため決決には加わりません。

町政を問う

一般質問

令和5年第1回定例会の一般質問は、3月3日、6日の2日間の日程で行われ、7名の議員が一般質問を行いました。主な質問と答弁の内容は次の通りです。

また、本会議でのやりとり(会議録)がホームページで閲覧でき、一般質問もすべて見ることができますので、ぜひご覧下さい。(議会終了後、会議録の調製等に3月程度かかりますので、あらかじめご了承下さい。)



地籍調査事業について

児玉 地籍調査事業はほぼ完了していると思うが、懸案事項はあるのか。

町長 境界を確定できずにある筆界未定地の解消である。

児玉 法務局の手続き等、地籍調査事業の最終完了はいつになるのか。

町長 予定では令和7年度にはすべての登記が完了する。

児玉 税務課の資産税対策班の業務内容は。

町長 業務は、実測課税を早期に実現するための必要な取り組みのすべてになる。

児玉 実測課税移行すると、固定資産税が大幅に増える者が出てくるが、それに対して理解を得る住民説明会などの周知状況は。

町長 面積が多くなれば今まで課税されていない方も課税対象になるなど問題があり、説明会は行う必要がある。

児玉 美郷町の従来の山林面積と地籍調査後の実測面積の違いおよび西郷、南郷それぞれの山林面積の変化は。

町長 西郷地区調査前面積2,391ha×約3.7倍=8,900ha、南郷2,059ha×約4.1倍=8,481haになる予想。

児玉 山林の固定資産税が増額するが軽減策はないのか。

町長 税の軽減策はない。



こだま ごうし
児玉 鋼士 議員

児玉 共有林は代表者1人が全額負担している現状があるが、税が増えることによってその負担が更に大きくなる。個別徴収はできないか。

町長 税法、分筆上問題があるので難しい。

児玉 税が増えることにより滞納が増えることも予想されるが、その対策は考えているのか。

町長 滞納が増えることは予想されるが、説明会をしながら納税に協力していただく。

保安林化について

児玉 保安林化の取り組みの進捗状況は。

町長 美郷町大規模保安林化推進事業を進めていく。今年度は南郷渡川地区で実施している。

議会を見にこんね!

どなたでも傍聴できます。傍聴席は新型コロナウイルス対策のため、人数制限を行っております。(当日受付先着順)ご理解頂きますようお願いいたします。

※体調不良の方は傍聴をご遠慮願います。また、手指の消毒をお願いしております。

第1回定例会
の傍聴者数
0人

第1回臨時会
の傍聴者数
2人

※臨時会は一般質問を行いません。

次回定例会は、
6月5日(月)
開会予定です。

地域おこし協力隊について

山本 協力隊員の活動方針や、日常生活の困り事などについて、担当者と受け入れ団体を交えた話し合いや相談の場を設ける事も必要と思うが。

町長 話し合いを定期的に行う。

山本 活動費についての説明が不足しているのでは。また、用途についても柔軟な対応が必要と思うが。

町長 丁寧に説明していきたい。

山本 勤務時間内の一定時間を、定住や起業のための活動に利用することを容認すべきと思うが。

町長 定住、起業のための時間を毎月の業務計画の中に組み入れていく。3年間の任期中の時間配分についても隊員と話し合っていきたい。

山本 協力隊に限らず、移住者の方々は起業意識が高いと考える。一般住民も含めてのことだが、創業者支援体制の整備が急務と考える。「創業者支援事業計画」の認定について検討すべきと思うが。

町長 令和5年度中に計画の策定を行う。



やまもと ふみお
山本 文男 議員

災害復旧事業について

山本 公共性の認められるボランティア災害復旧作業においては、燃料費の支援が必要と考えるが。

町長 燃料費の支援を行うこととする。

ポイント1 「創業者支援事業計画」とは？

地域の創業を促進させるため、市町村が民間事業者（商工会や金融機関等）などと連携し、創業希望者にきめ細やかに対応できるよう「創業支援等事業計画」を策定し、国が認定するもの。

計画を策定することで、起業する際の登録免許税の軽減や融資制度での優遇が受けられる。

※宮崎県内では美郷町を含む6町村が計画未策定。

国道388号、446号の早期整備について

那須 昨年9月の台風14号災害により、諸塚の国道327号は道路が崩落しており、国道388号は国道327号より速い時間で椎葉日向間を往来できることから、現在もその迂回路として評価が高まる中、車両の通行量が大変多くなっている。国道388号、椎葉美郷間の整備を急ぐ必要があるが、いかがか。

町長 国道388号は国道327号の代替え路線の位置付けとして大変大きなものがあり、急ぐ必要がある。期成同盟会があるので要望陳情を強力に展開していく必要がある。

那須 木材需要の高まりで2021年度の木材生産部門の林業産出額が初めて日本一になり、国道446号はトレーラーなど大型車が頻繁に往来する事態となっている。また、台風、大雨により河床に堆積している砂利搬出の大型ロングダンプが列を組んで行き交う状況であるが、カーブが多くトレーラーは交差時に片方が待機して待たざるを得ない事態も出てい



なす とみひろ
那須 富重 議員

る。国道446号の1日も速い整備が望まれるがいかがか。

町長 5、6月の早いうちに中央省庁に椎葉村等と共通の目的をもって行き、省庁に戻っている元副知事などに来て貰い直接実状を聞いて頂き、一緒に効果的な要望活動を行う。

地区別定住戦略について

那須 地区をまたいで、人気のグラウンドゴルフなどをちくせんコンペ事業として行うことができるのか。

企画情報課長 いずれはコンペ形式の支援もしていきたい。地区をまたいだ取り組みはどんどん進めていただきたい。

河川に堆積した砂利への対応について

中 田 台風14号で美郷町内の河川に膨大な砂利が堆積している。川底が上昇し、既設の橋が大水で流されるなど二次災害が予想される。町としてどう対応するのか。

町 長 二次災害を防ぐためにも砂利の撤去は必要である。県と連携し、土捨て場の確保等を行い順次進めていく。

中 田 鬼神野牛山ダムの砂利は甚大である。今後、牛山橋の危険性は高いと思うがどう対応していくのか。

町 長 県または企業局へ要請し、早期の砂利除去作業をお願いします。



鬼神野牛山ダム

令和5年度予算等審査特別委員会で現地を視察しました。



なかだ たけみつ
中田 武満 議員

農産物直売所の位置づけと管理運営について

中 田 町内の直売所は観光協会や民間による管理運営となっている。農産物直売所は地域活性化のための農業関連施設と考える。位置づけを明確にし、さらなるサポート体制が必要ではないか。

町 長 直売所は安全で安心な地元農産物を提供する役目がある。今後も出荷者協議会と連携してより良い直売所としていく。

ポイント1 町内の直売所とその管理者

直売所名	管理者
いっつもや 美郷ノ蔵	一般社団法人 美郷町観光協会
地蔵の里 北の郷	合同会社リバーズいすず

美郷町の持続的発展のための農林業の取り組みについて

甲 斐 国際情勢の変化に対し美郷町の農林業をどのようにとらえているか。

町 長 農林業の衰退は美郷町の衰退にもつながっていくため、ますます複雑化する社会情勢の把握に努め、国県の動向を注視しながら今後も農林業者に寄り添った支援を行い、臨機応変に対応していく必要がある。

甲 斐 農業を将来にわたって持続的に維持、活用する取り組みは。

町 長 土壌診断し適正な肥料管理による経費削減など必要と思うが、現時点では目の前に見える部分をしっかりと対処していく。

問題が多いのでひとつひとつ丁寧に解決していきたい。

持続的に維持していくためには人がいなくてはそこで途切れてしまう。田舎での農業に目を向けている若者が増えてきているので、アクションプランを元に人材を求めていく。



かい ひでのり
甲斐 秀徳 議員

6次産業化は栗の植栽も増えており、手入れにより量も確保できる。

また、製品にして付加価値を高め生産者へ還元できるので、起爆剤になり他の作物にも波及していくのではないかと。

米は今年は特Aを取得できなかったが、美郷ブランド米として買取価格の補助をしていく。

甲 斐 スマート農業への当町の取り組みについて。

町 長 中山間地農業に対応した使いやすいものでなければならない。労働力不足、高齢化となればスマート農業は取捨選択の中でやる必要がある。

消防施設について

川村 消防施設は非常用水、消防機庫など色々あるが、町内の消防施設で借地があるのか。また、あれば借地代はどのようになっているのか。

町長 合併前からの施設が多く、全部の把握はしていないので調査したい。

川村 西郷分団第1部の消防機庫は峰区と町が契約して町に借地代を支払っている。町内で他に事例はあるのか。

町長 なぜ区が支払っているのか経緯がわからない。公共性が高いので、調査し、区の負担とならないように前向きに検討したい。

ポイント1 消防施設の土地は

消防施設名	数	うち私有地にあるもの
防火水槽	279基	236基
消火栓	433基	-
消防詰所・機械倉庫	66棟	39棟

※ただし、町が借地料を支払っている例はなし。



かわむら よしひこ
川村 嘉彦 議員



西郷峰地区にある西郷分団第1部の消防機庫

国道388号水清谷小又吐三叉路^{さんさろ}における交通事故防止対策について

若杉 小又吐橋は橋梁が高く、下り車線は見通しが良いにも関わらず、度々大事故が発生している。事故防止措置の必要性があると考えているが。

町長 橋梁自体はどうにもならない。土木事務所・公安委員会等と道路標識・路面標示等の必要性について協議したい。

迂回を余儀なくされている町内の道路の災害復旧工事について

若杉 台風14号により県道・町道・林道が被災し、今現在も町内には迂回を余儀なくされる地区が残っている。査定、入札時期、工事期間等の情報を大まかで良いので被災者に提供してほしい。

町長 必要なことだと考える。今後は建設課長とも協議し、可能な限り町報や公民館長の協力のもと情報提供したい。

若杉 南郷中渡川地区について、災害箇所付近に歩道建設ができないか。

建設課長 復旧工事に影響が無い事が最重要。問題なければ工事請負業者と協議し判断したい。

若杉 迂回路の現状については。

町長 把握している。なるべく早く整備したい。



わかすぎ しんじ
若杉 伸児 議員

『グループホーム神話の里』事業継承について

若杉 令和5年3月末をもって閉鎖予定と聞いていたが、1月には休所しているように思える。施設の入所者および職員の現状はどうなっているのか。

町長 昨年末に新型コロナが発生したため、「うなまの里」に移送し対応を図ったようである。入所者はそのまま本入所となり、職員は再雇用者と退職者に分かれたようである。

若杉 新規参入の業者働きかけの進捗状況は。

町長 数事業所に打診した。現状は厳しいが今後も関係機関と協議していきたい。

要望活動を行いました

1月31日に国土交通省九州地方整備局へ出向き、要望活動を行いました。

美郷町議会では町の課題解決に向けて国の関係機関に対し、町の現状を伝えるとともに、課題解決に向けた働きかけを行っています。今回の主な要望事項については下記のとおりです。



1. 道路財源の確保を図ること。
2. 国道388号の整備促進を図ること。
 - ・門川町庭谷から松瀬までの早期完了と美郷町北郷側への早期着手
 - ・南郷新屋敷工区の工事着手
3. 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を推進するため、必要な予算の確保を例年以上の規模で図るとともに、5か年加速化対策後も予算・財源を通常予算とは別枠で確保し、継続して国土強靱化対策に取り組むこと。
4. 災害復旧・復興段階での国からの継続的な人的・技術的支援を確保するため、地方整備局等の人員の継続的な増員を行うこと。

総務厚生常任委員会委員会調査

様々な子育てのあり方を

1. 調査日 令和5年1月17日（火曜日）
2. 調査場所 北郷支所林業センター研修室

認可外保育施設の運営状況について、令和4年4月に設立された「もうひとつの」こどもえんyattara（ヤッターラ）」の代表 上村かおり氏より説明を受けました。



「yattara」では子どもに自由に過ごしてもらい環境があり、大人は子ども達の中で自然とできたルールを尊重しながら、トラブルは大人同士で解決させ、大人は必要があるときに子どもを諭すようにしているようである。また、この子ども園に共感して町外からの利用者や移住者もあり、人口減対策にもつながっているようであった。

運営に課題はあるようだが、一つの子育てのあり方として注視していく必要がある。

文教産業常任委員会委員会調査

島根県邑南町の「ちくせん」を調査 継続可能な町独自の取り組み構築を

1. 調査日 令和5年2月1日（水曜日）
2. 調査場所 島根県邑南町

島根県邑南町地域みらい課および実践組織の合同会社出羽（いずわ）から地区別戦略の取り組みについて説明を受け、実践地区の現地調査を行いました。

邑南町は行政区を12公民館で組織しており、全ての公民館に職員が配置されているなど本町とは町の仕組みが大きく違い、その仕組みが地区別戦略の土台になっていると感じた。

現地視察を行った出羽（いずわ）地区は、平成25年に合同会社を設立し、耕作放棄地の活用や就農支援、空き家の賃貸や起業支援を行っており、中山間直接払交付金も貴重な運営資金になっているようであった。



合同会社出羽の代表より説明を受け実践地区を視察しました。

本町も、町独自の取り組みを構築する必要があるが、本町のちくせんの目的である「人口減少に歯止めをかける」、町からの助成がなくなっても「継続した活動ができる」ことが、現在の実践組織にしっかりと認識されているのか、またそういった方向で進んでいるのか検証する必要があると感じた。



地域みらい課長よりちくせんについて説明を受けました。

大規模災害時の停電対応について 九州電力と意見交換会を行いました

1. 調査日 令和5年2月10日(金)
2. 調査場所 実施場所:役場第4会議室

令和4年9月に起きた台風14号災害での停電戸数が最大数の時点から完全に復旧するまでにかかった日数などの資料と近隣市町村の被害状況、具体的な対応内容について説明を受け、その後質疑応答を行いました。

大規模災害時には土砂崩れや道路崩壊、倒木等で復旧に遅れが生じるため、情報共有および現地での軽トラック等の借用や復旧資材の輸送等、相互に連携が必要であると感じました。



出された意見(抜粋)

- (質) 大規模災害時において美郷町と業務提携をして早期復旧に努めることはできないか。
- (答) 覚書をしているが機能していない所もあるので今後内容を検討していく。
- (質) 正しい情報共有のために町だけとやり取りができるコールセンターが設置できないか。
- (答) 覚書により緊急連絡窓口を設置しているが、コールセンターとなると人員が足りない。



ご冥福をお祈り致します

美郷町議会議員の小路文喜議員が2月14日逝去されました。小路議員は、旧南郷村議会議員を7年、美郷町議会議員を13年つとめられました。町民のことをいつも念頭に置いて精力的に議員活動をされており、議場においてはいつも鋭い質問をされていました。改めてご冥福をお祈り致します。

議員のひと言コーナー

小路議員のこと

やまもと ふみお
山本 文男 議員



今年2月、美郷町議会が小路文喜議員を失ったことを心から残念に思います。議員はこの1年、「国民健康保険税の住民負担軽減」、水道使用料の少ない世帯を鑑みた「水道料金制度の変更について」等の一般質問を行ってこられ、常に住民を思いやる確固たる信念を持っておられました。議場で積極的に発言する姿が目に見えます。令和2年の富井議員に続いての訃報でした。お二人の志をしっかり受け継いでまいります。

看板娘

わかすぎ しんじ
若杉 伸児 議員



2月13日、南郷水清谷地区に『ひやくしやう 百笑蕎麦屋』がオープン。営業しているのは、同地区・山田秀子さん(写真右側)と関本弥生さん(写真左側)の2人(年齢不詳)。文字通り自慢のきれいな水と、地元産100%の蕎麦粉を使った至福の一杯。そもそも空き家物件の利活用・地域活性化・耕作放棄地解消と一石三鳥を狙っての開店。週一の営業日、毎週土曜日には地区内外からのお客さんと賑わっている。1日20~25杯の売り切れ御免、看板娘が待つとよ〜。

生命力

はやかわ せつお
早川 節夫 議員



美郷町北郷入下のお寺(見性寺)下付近の道路沿いに立っていた大きな桜の木が今年の台風で根ごと倒れ、横に寝ている状態です。いつもですと4月には満開の桜の花を付け見る人の目を楽しませてくれていました。今年はまだ花を付けられないだろうな、枯れてしまおうだろうないつも車窓から見通っていました。ところが花を付けているではないですか!その光景を目にした時なぜか嬉しくなり、思わずカメラを向けていました。最後の力を振り絞っての開花です。

あれからどうなった？ ～追跡調査～



美郷町型軽トラ市について

(令和4年9月議会での一般質問)

かい ひでのり
甲斐 秀徳 議員

問 地域活性化、高齢生産者の健康維持、若者の発表の場、出品者と買い物客の会話など、買い物本来の楽しさを呼び起こす軽トラ市を行なってはどうか。

答 (町長)

県内では川南町で軽トラ市が行われており、毎月第4日曜日に開催され、約130台の軽トラが出店。さらに、1万人以上の来場者がある。美郷町ではどういった形で、どこですのか議論していきたい。運営母体をどうするのか精査し、これならできる、難しいならば他の方法でどうかと考えて行く必要がある。直売所、農産物販売所の方もおられるので、実績等を集めて軽トラ市を含めたなかで研究した方が良いのでは無いかと思う。若い人を中心に生産者を取り込みやっていきたい。



(企画情報課)

どこが実施主体となって、どういった形で開催するのが望ましいか、今しばらく調査研究を進めさせていただく。また、町が美郷町総合戦略の中の「地域づくり」の具体的な取り組みとして進めている「地区別定住戦略(ちくせん)」の中でも、野菜や果物、生活雑貨や食べ物などの店舗が並ぶ「マルシェ」を計画している地区もあることから、「軽トラ市」という形にこだわらず、そういった取り組みを見守っていききたい。



(令和5年3月16日現在)

コロナ禍における伝統芸能の継承活動について

(令和4年9月議会での一般質問)

わかすぎ しんじ
若杉 伸児 議員

問 コロナ禍により様々な伝統芸能が中止となっており、このままでは衰退していくのではと危惧している。各地の継承活動の現況を調査しているのか。

答 (教育長)

町内6地区の神楽はDVD化している。盆踊りについては十分な調査がされておらず、今後検討していきたい。



(教育課)

伝統芸能の保存継承については、地域の活性化にとっても重要なものであり喫緊の課題として取り組んでいくこととしている。新年度予算で「郷土芸能保存事業」を立ち上げ令和5年度から年次計画により、地域の貴重な伝統(郷土)芸能の映像を記録・保存し、その継承を支援していく。同時に令和5年度に策定される「みやざき文化振興計画」をもとに民謡や舞踊等が所属する町文化協会の活動や町民の皆様が文化を鑑賞する機会を拡充し、本町における文化活動の充実と振興に努めていく。



南郷渡川地区の盆踊りの様子

(令和5年3月15日現在)

美郷町の元気びと

第16回 目標は生涯現役 シキミ農家 末永 敏幸 さん・眞喜子 さん夫婦

南郷水清谷地区の頼れる人、末永敏幸さん、眞喜子さん夫婦にお話を伺いました。



シキミ栽培を始めたきっかけは。

55歳で早期退職し、自営農業に戻った時のことです。植物栽培が好きで前職で経験も積んでいましたので、地域の副産物になればと思い始めました。

栽培を始めて何年になりますか。また、栽培面積は。

18年になります。園地は自家用の重機で約70アール造成、2千本ほど植栽しています。

栽培をするうえで問題や工夫は。

霜害（霜焼け）や病害虫の発生に悩まされます。薬剤散布、施肥など管理作業が最も大事です。特に剪定は大量生産に欠かせません。

美郷町行政に望むことは。

52%を超える本町の高齢化率に懸念される農林業の労働力不足、後継者問題など低迷が続いています。生涯現役で取り組める事業は掘り起こせないか、考えてほしいです。U・Iターンに繋がるかもしれませんので。

仕事は辛くないですか、また、元気の秘訣は。

意外と楽しいものですよ。元気の源は明日の仕事が待っていることです。そして好きな食べ物、おいしい食べ、趣味を持ちストレ



▶シキミ以外にもタマネギやお茶、米作りもしています。

スをなくすことですかね。生涯現役を目指してピンコロを願っています。

今後の抱負とこれからの楽しみは。

高齢者の仕事仲間が増えるといいなと願っています。シキミ生産者も増えてほしいです。市場の注文に出荷が達成できていない現状が情けない。楽しみは孫たちに囲まれて食事をしたり、ゴルフコンペに参加することです。傘寿（80歳）を迎えましたが、動ける間はゴルフ場を回りたいです。

これからもシキミを植えると話されたので、なぜ今からと尋ねたら、自分が出荷できなくなっても若い人達が利用して生活ができればいいと笑顔で話されていました。これこそが次世代への最大の支援策だと心温まるお話が伺えました。

（取材 兒玉 鋼士）

編集後記

三寒四温の中、第一回定例会が開催されました。新年度予算も原案通り可決されましたので、台風14号の災害復旧が順調に進むことを願うばかりです。

神門・観音禅寺に「覚えることも大事だが、忘れることも大事です。」と書かれてました。過去の辛い出来事を選んで忘れることはできません。毎日大事に生きて、明るい明日が来ることを願えば、自ずと忘れていかれません。

新緑の季節となります。ここからちよつと旅に出るのもいいかもしれません。

中田 武満

（編集）

美郷町議会

広報広聴特別委員会

広報部会

部長：中嶋奈良雄

委員：中田 武満

川村 義幸

川村 嘉彦

オブザーバー

山本 文男

※この議会だよりは1部 39.4円でできています。